

成功する中小企業の 経営戦略・事業計画

(株)マネジメントセンター

目次

1章 中小企業こそ、なぜ経営戦略が重要か

2章 経営戦略で、潰れない会社にする

3章 経営革新で、会社をどんどん成長させる

4章 経営計画作成の方法

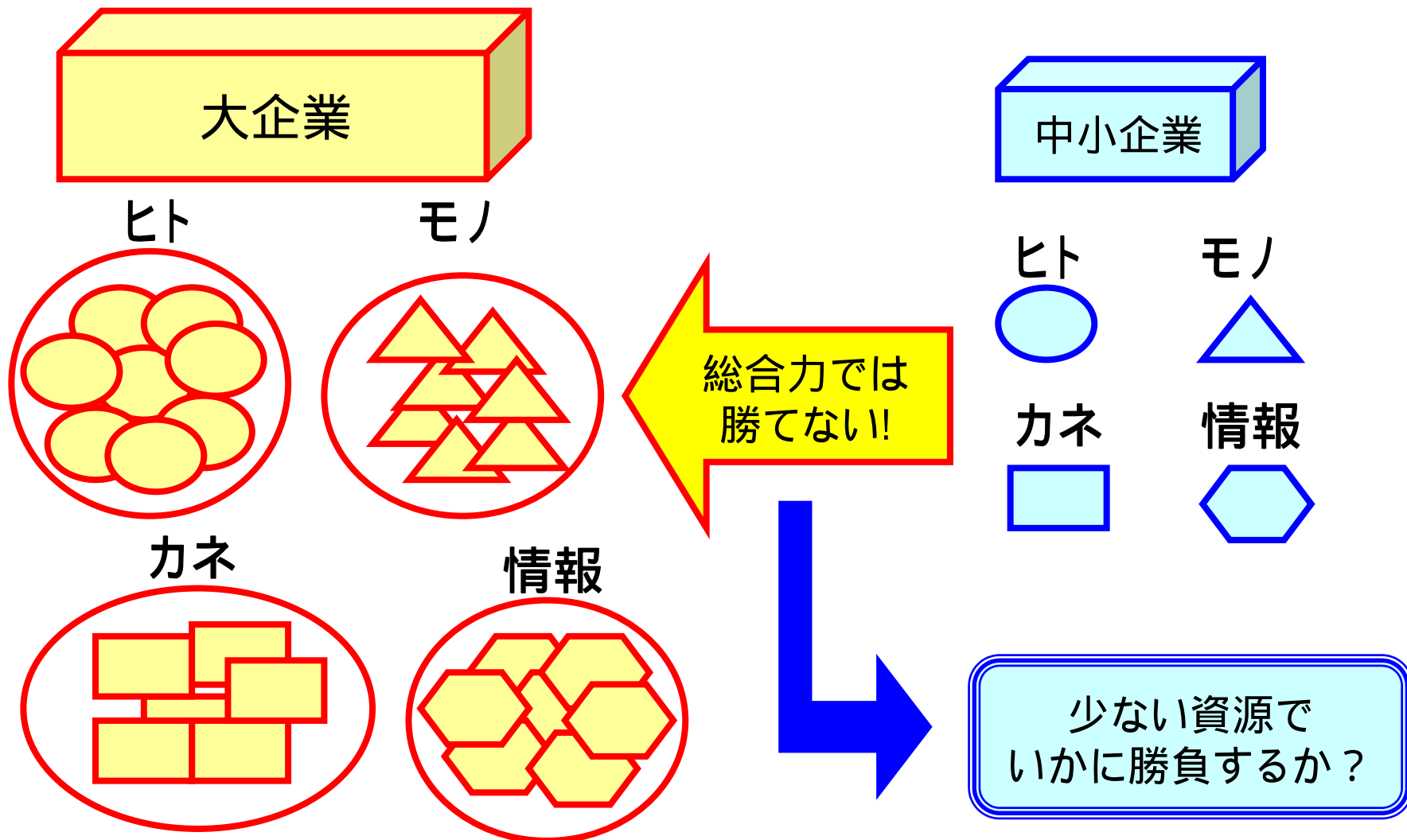
5章 成功事例で、ノウハウを学ぶ

1章

中小企業こそ、
なぜ経営戦略が重要か

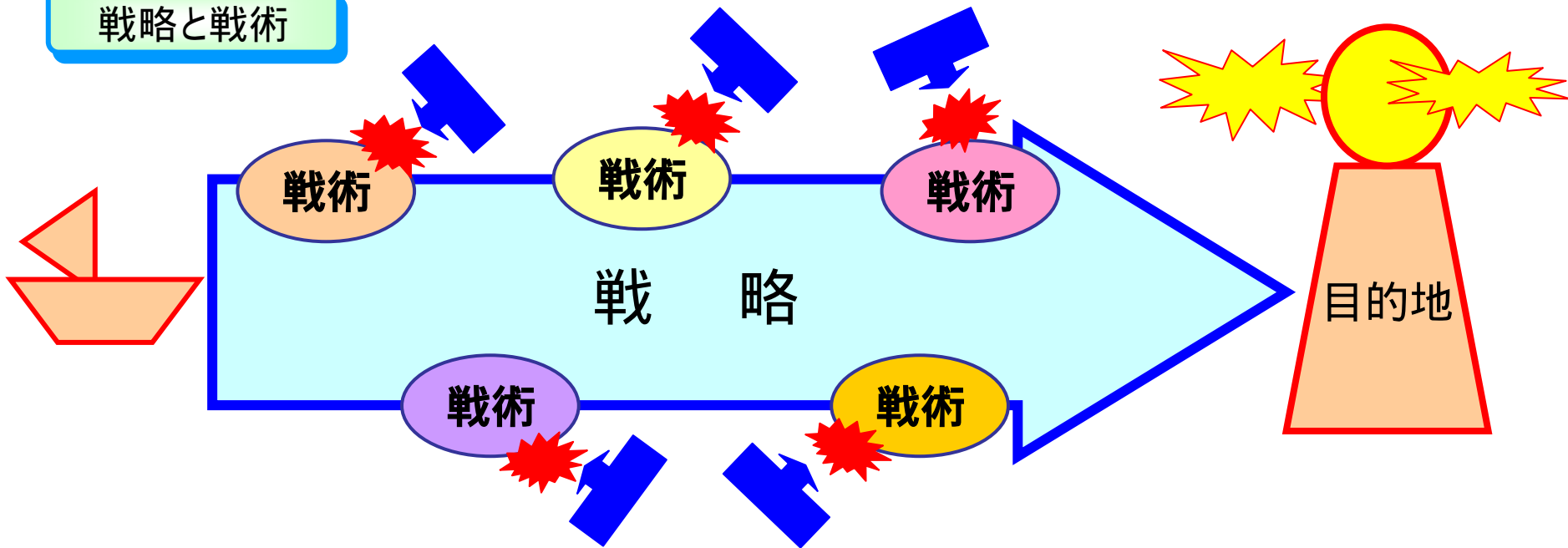
大企業と中小企業の資源の格差

資源の格差

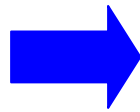


経営戦略とは

戦略と戦術

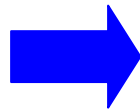


戦略



目的地へ到達するための羅針盤
どういうルートで目的地へたどり着こうか？

戦術

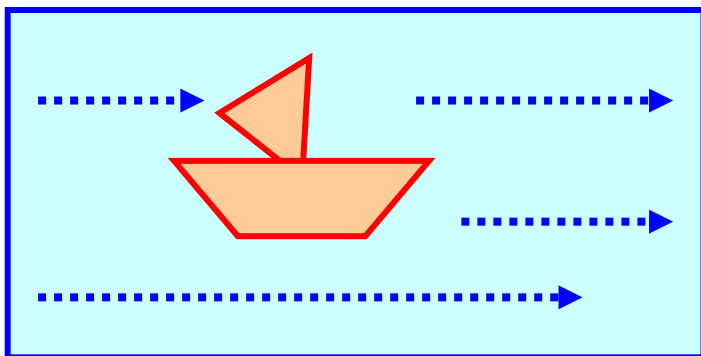


ある場面ごとの対処法
どうやってその場をうまく切り抜けるか？

戦略なき戦術では勝てない

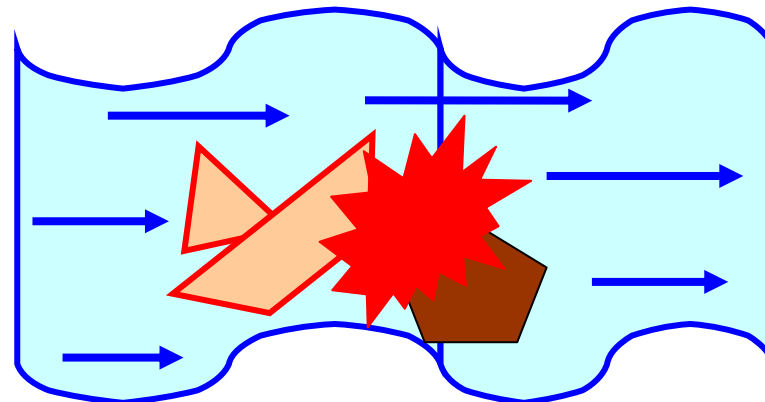
世の中の激しい変化が、経営戦略を必要としている

今まで（変化がゆっくりの時代）



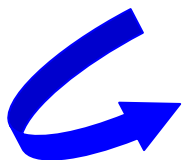
流れに身を任せても問題なし

これから（激しい変化の時代）



経営戦略（＝羅針盤）がないと、
激しい変化の波にのまれてしまう

その場しのぎ（＝戦術）だけでは、激しい変化に対応できない
「いつ、どんなことに出くわすか？」をあらかじめ想定



戦略があるから、戦術が生きてくる

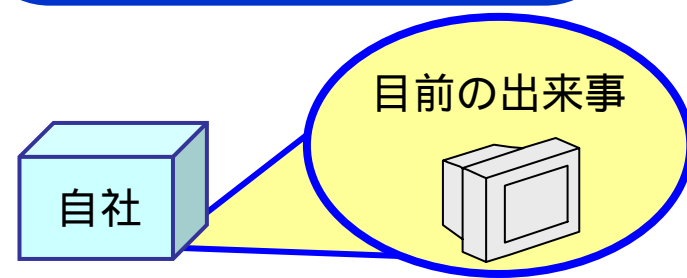
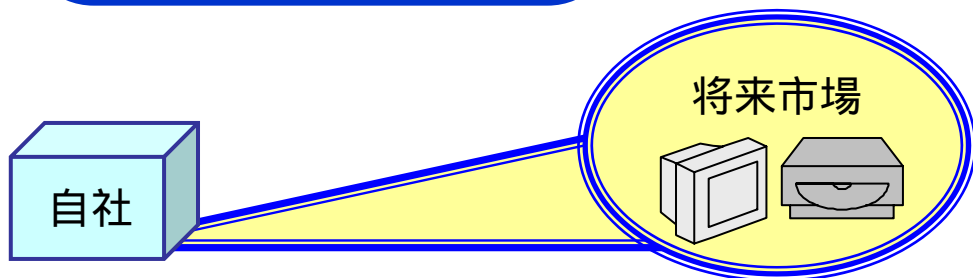
戦略思考と現場思考

「戦略思考」「現場思考」の順で

将来構想からの発想
(戦略思考)



今を何とか乗り切る発想
(現場思考)



進むべき方向を決める
大きく、重要な問題に絞る
決定までの過程を重視する

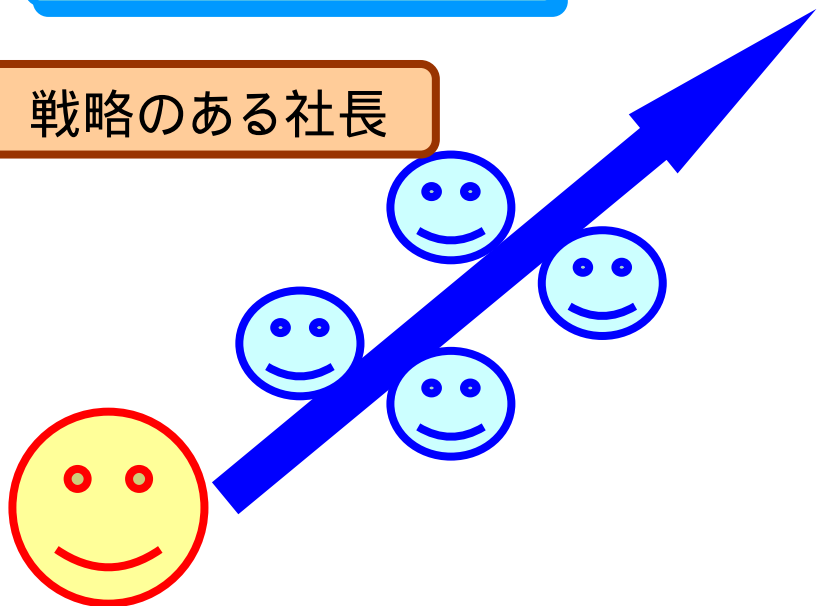
今までの延長線上で考える
細部にまで徹底的に気を配る
やり方の改善

どちらの思考が良いか、悪いかではなく、思考の順番が大切!
「戦略思考」で大きな方針を決めてから、「現場思考」で仕上げをする

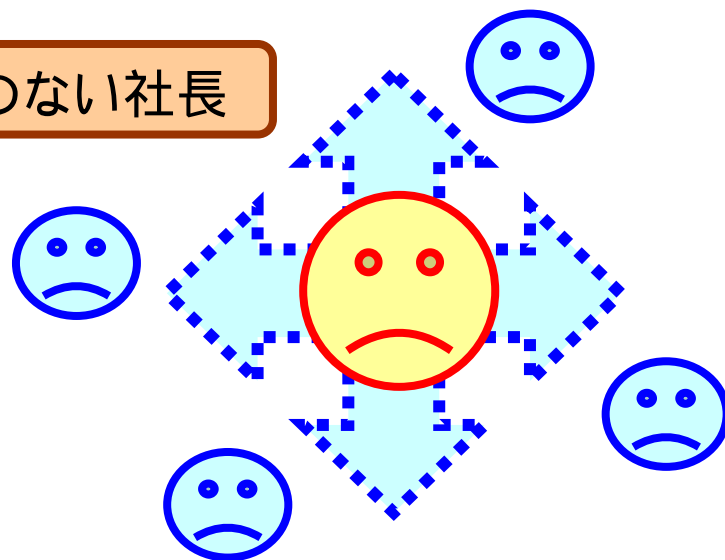
戦略で自社の一体感を

戦略で方向性を一致

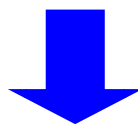
戦略のある社長



戦略のない社長



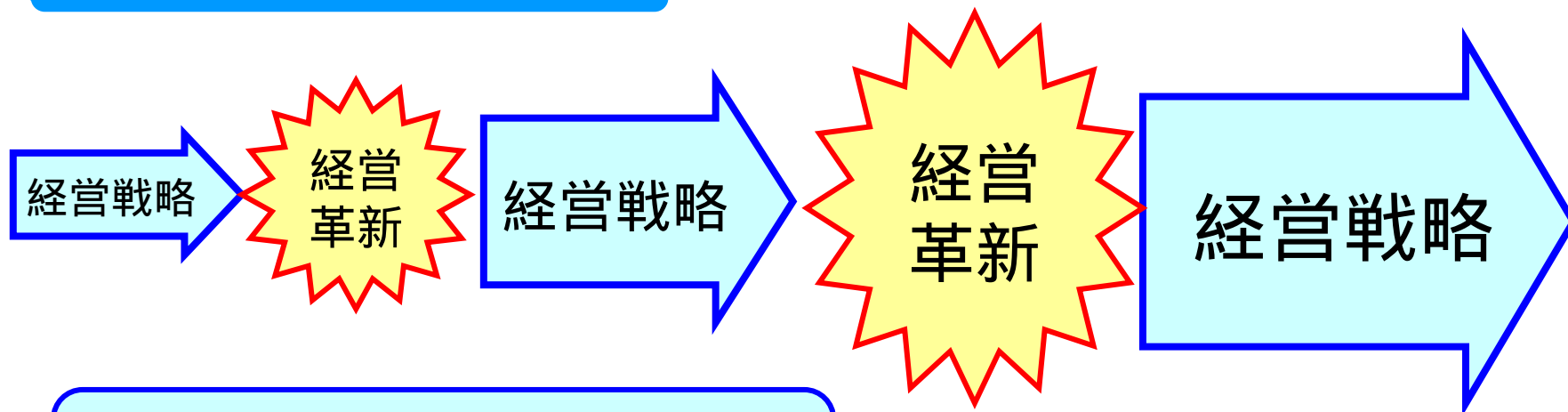
社長の戦略が明確になっていないと、社員の力が発揮できない



少ない経営資源を有効活用するためにも「経営戦略」が必要

経営戦略と経営革新

「経営戦略 + 経営革新」が必要



世の中の状況は変化する
「経営戦略」も見直しが必要

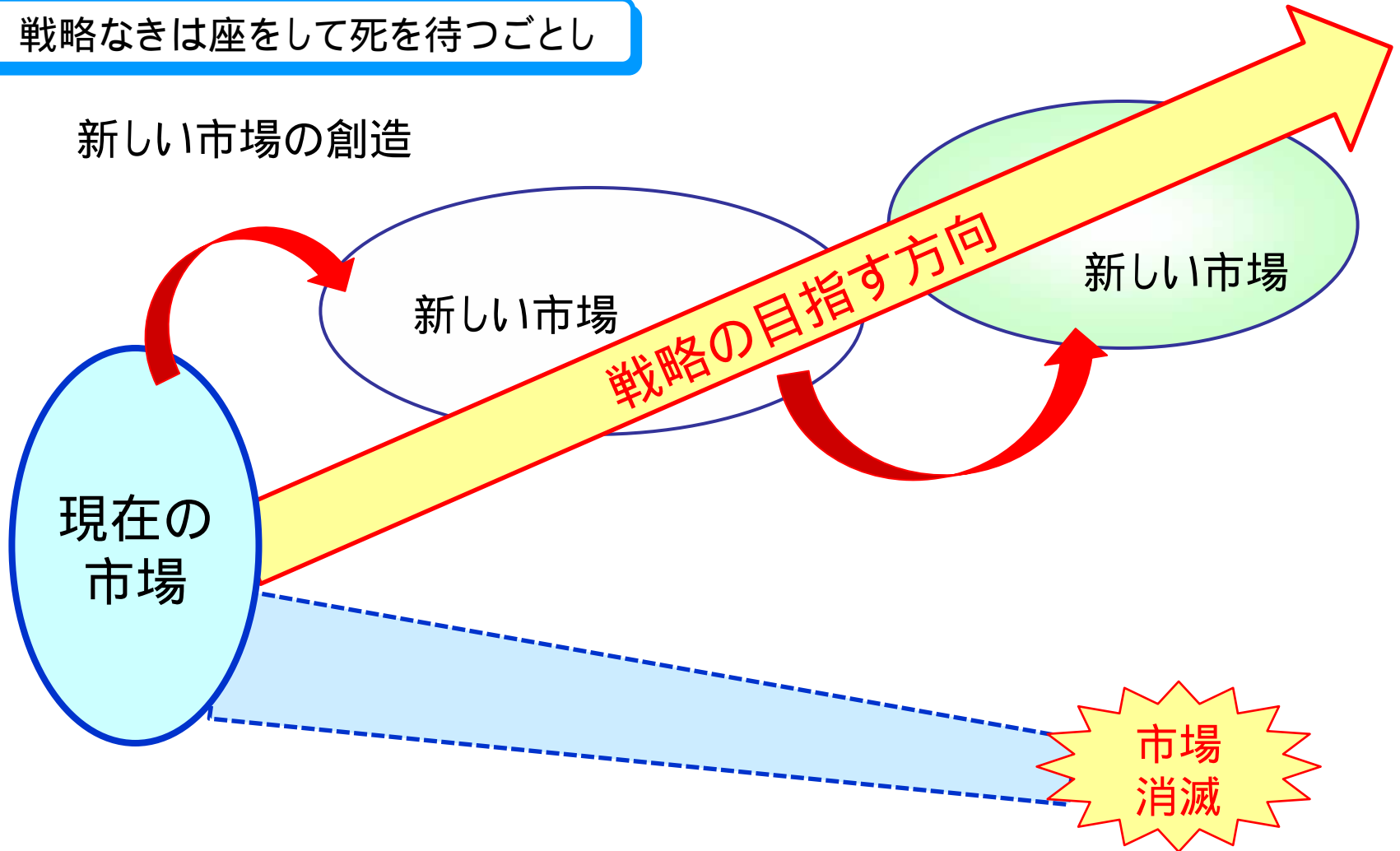


「経営戦略 + 経営革新」を進めると、「強い」企業になる

変化しないことはリスクである

戦略なきは座をして死を待つごとし

新しい市場の創造



既存市場にこだわっているとチャンスを逃す

演習1 - 1 (問題)

次の太田社長のやり方をどう思いますか？

太田社長は、各事業部の意思を尊重する経営をしています。毎年各事業部に来期の経営計画を立てさせ、それを経営企画室が集めます。経営企画室は、各事業部の調整を念入りに行って、最終的に全社の経営計画をまとめています。

社員の自主性を尊重した「戦略家」である。

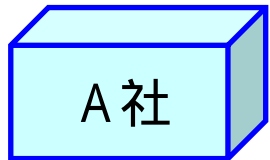
各事業部の意見の寄せ集めは「戦略」ではない。

「戦略的」な経営計画の立て方である。

各事業部方針は、先に全社方針を決めてから行うべきである。

演習1 - 2 (問題)

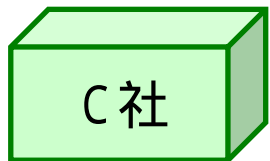
次の4つの中で、「戦略的」なものはどれでしょう？



従業員からの提案をもとに、工場
の生産ラインの改善活動を推進中



社長のトップダウンで、工場
の生産ラインの改善活動を推進中



社長のトップダウンで、タイへ工場を建設



社長のトップダウンで、新規事業を開始